

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業			事業番号	014-050
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①ひとり親家庭などへの支援				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	母子及び父子並びに寡婦福祉法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	母子家庭等で疾病等の事由から一時的に家事困難な世帯で利用を希望する者	対象数	5	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	母子家庭等が自立するために必要な事由や疾病などの事由により、一時的に生活援助が必要な場合に、家庭生活支援員を派遣し、生活の安定と自立の促進に寄与し、母子家庭等の福祉の増進を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	ひとり親家庭の父母、寡婦が技能習得のための通学、就職活動等自立促進に必要な事由や疾病等から、一時的に生活援助が必要な場合に、堺市に登録した事業所から家庭生活支援員を派遣し、生活援助を行う。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益社団法人堺市シルバー人材センター、三共電子工業株式会社、一般財団法人 堺市母子寡婦福祉会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標				
	家庭生活支援員の派遣により、ひとり親家庭等の生活の安定を図るためその生活を支援する				
	当該目標を設定した理由	ひとり親家庭の生活の安定や自立の支援のために生活援助は欠かせないものであり、特に、疾病や就業のための技能習得、生活環境が激変した際の支援が重要なものであるから			
	目標に対する実績	生活の安定を図るための生活支援を行っている。			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標
	派遣延べ回数		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	—	—	—
		実績値	73	120	—
達成率	—	—	—	—	
	当該指標を選定した理由	本事業は生活に支障のあるひとり親家庭に対し家事サービス等を行うものであり、派遣回数がひとり親家庭への支援に直結するため			
	目標値の設定根拠・算出方法	派遣回数 (派遣回数の増加が目標ではないため、目標値は設定しない)			

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業	事業番号	014-050
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	229	358	270	527	346
13 財源内訳					
国支出金	107	176	130	264	169
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)	14		7		7
一般財源	108	182	133	263	170
14 人件費 (b)	820	820	820	820	810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,049	1,178	1,090	1,347	1,156

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R4	決算					R4	決算			
16 事業費内訳	通信運搬費	R4	決算	0	0		R4	決算			
		R5	予算	3	2		R5	予算			
	消耗品費	R4	決算	2	1		R4	決算			
		R5	予算	5	3		R5	予算			
	ひとり親家庭等日常生活支援事業	R4	決算	525	262		R4	決算			
		R5	予算	338	165		R5	予算			
		R4	決算				R4	決算			
		R5	予算				R5	予算			
		R4	決算				R4	決算			
		R5	予算				R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 派遣回数	人	73	120
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,178	1,347
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	16,137	11,225
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 現に生活に支障があるひとり親家庭等に対する生活援助について、業務を効率的に実施できた。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 ひとり親家庭の経済的安定に向けた支援に寄与する取組として、離婚後間もないひとり親や疾病等社会生活に支障をきたすひとり親等の生活安定のための支援を実施している。自立促進には、現在の生活の安定が不可欠であるため、一時的に家事援助が必要な家庭に対しサービスを提供している。
R4年度は利用者数・派遣回数が増加し、R5年度以降も新たな事業者の加入により、家庭生活に支障をきたすひとり親家庭の支援にますます寄与するものと期待される。